

【テーマ： <sup>うご</sup>動きださなくては <sup>なに</sup>何もはじまらない】

No./分野	書名	著者名	出版者
No.11 技術	ゆめ 夢をつなぐ	やまざき なおこ 山崎 直子	角川出版
	子どものときに夜空を見上げて星の数を数え、宇宙にあこがれていた少女が、やがて宇宙飛行士候補に選ばれ、実際に日本人女性2人めとして15日間宇宙へ飛行しました。その山崎直子さん自身が書いた、夢を実現させたストーリーです。		
No.12 実話	ひとりではじめたアフリカボランティア	くりやま 栗山 さやか	金の星社
	25才までファッションの仕事などで忙しく生きてきたさやかさんですが、親友の死をきっかけにバックパッカーとして海外旅行に出ました。そしてモザンビークという国で、貧しさや病気で苦しむ人を支援する活動を始めました。25才までの生活とその後の違いにびっくりします。		
No.13 歴史	ごかい 誤解だらけの明智光秀	ほんごう かずと 本郷 和人	マガジンハウス
	本能寺の変をおこした明智光秀は、今まで戦国武将としてあまり人気がありませんでした。それは「本物の史料」にも嘘があり光秀が誤解されているからで、その誤解を解くためにこの本を書いたと著者は言います。疑問点をたくさん項目にわけて、とても読みやすく書かれています。		
No.14 伝記	ブレイクスルー	しょうむら くにゆき 正村 邦之	現代書館
	正村さんは勉強がいやで中学1年から学校へは行かなくなり、新聞店・自衛隊・八百屋などで働きました。あることをきっかけに猛勉強して学歴の関係ない「司法書士」の資格に挑戦します。合格して働きはじめるまでの「突破力」は、不可能なことは何もないと思わせるほどです。		
No.15 社会	こきょう あじ うみ 故郷の味は海をこえて	やすだ なつき 安田 菜津紀	ポプラ社
	自分の国では安全に暮らすことができなくて日本にやってきた人々を「難民」と呼びます。安田さんは難民たちがつくってくれる故郷の料理を食べながら彼らの話を聞き、私たちが知らない難民たちのきびしい実態を発信しています。		

# うちどく（家読）10 すいせん図書リスト

中学生向け

## 可児市立図書館

<https://www.kani-lib.jp/>

本館 TEL62-5120  
可児市広見570番地5  
帷子分館 TEL65-8530  
可児市東帷子1011  
桜ヶ丘分館 TEL64-3473  
可児市臯ヶ丘6丁目1番地1

可児市立  
図書館  
スマート  
フォン用  
ウェブサイト



2020年作成



# テン うちどく(家読)10

# 図書館でかりて うちでよんでみよう!

【テーマ: <sup>あした</sup> <sup>む</sup> <sup>ある</sup> <sup>はし</sup> 明日に向かって歩け! 走れ! 】

No./分野	書名	著者名	出版者
No.1 小説	かぜ つよ ふ 風が強く吹いている	みうら しをん	新潮社
	1本のたすきにかける友情、キズナ。箱根駅伝の熱いドラマを実感! 奇跡のような出会いから、清瀬灰二と蔵原走は無謀にも運動とは無縁な下宿仲間と箱根駅伝にいどむ。超ストレートな青春小説。		
No.2 小説	よる 夜のピクニック	おんだ りく 恩田 陸	新潮社
	高校生活最後を飾るイベント「歩行祭」。それは全校生徒が夜を徹して80キロ歩き通すという、北高の伝統行事だった。甲田貴子は密かな誓いを胸に抱いて歩行祭にのぞんだ。三年間、誰にも言えなかった秘密を清算するために。		
No.3 小説	しゃぶ 車夫	いとう みく	小峰書店
	家庭の事情で高校を中退した吉瀬走は、夢中になった陸上もやめざるをえなかった。そんな中、人力車のひき手をやらないかと誘われる。車夫の条件は、走るのが好きなのとイケメンであること! 浅草の「力車屋」で車夫となった少年と、同僚や客たちとのあたたかなふれあいを描く連作短編集。		
No.4 小説	ラン	もり えと 森 絵都	理論社
	もらった自転車に導かれ、異世界に紛れ込んだ環。そこには亡くなったはずの家族が暮らしていた。自転車を手放すことになった環は、家族に会うために異世界まで走ろうとランニングチームに入るが、そこで生きる強さを学び…。		
No.5 小説	すこ すこ あと少し、もう少し	せ お 瀬尾 まいこ	新潮社
	中学生の駅伝を舞台に繰り広げられるスポーツ青春小説。学校の代表として駅伝に出場することになった6人のメンバーたち。それぞれが悩みを抱えながら、その壁を乗り越えようとするように走り、たすきをつないでいく。みんなの抱えるモヤモヤに共感しながら、一緒に走り抜ける爽快感が味わえる。		

【テーマ: <sup>なや</sup> <sup>まよ</sup> <sup>せいしゆん</sup> 悩んで迷ってこそ青春】

No./分野	書名	著者名	出版者
No.6 読書	だい としよ かかりほさ 第2図書係補佐	またよし なおき 又吉 直樹	幻冬舎
	お笑い芸人にして芥川賞作家のピース又吉が、太宰治や江戸川乱歩などのおすすめ本を、自身のエッセイとからめて紹介する。いろんな本に出会うきっかけをくれる本。		
No.7 小説	ナゲキバト	ラリー・パークダル かたおか のぶ 片岡 しのぶ/訳	あすなる書房
	交通事故で両親を亡くし、祖父に引き取られた少年。少年に訪れるいくつかの試練と悲しい出来事が、少しずつ彼を成長させてゆく。全米に大きな反響を呼んだ物語。		
No.8 伝記	りけい ますたいち せいぶつぷ まいにち 理系アナ樹太一の生物部な毎日	ます たいち 樹 太一	岩波書店
	筋トレと登山合宿が必須の「体育会系」生物部の過酷な日々。デートとムシ取りの究極の選択。アナゴ採集で船酔いと戦い、アサリ掘りで砂にまみれた大学での研究生活。そして、未知のテレビ業界へ。生き物とともに成長し、理系魂で困難に立ち向かってきた日々を語る、人気No. 1生物オタクアナの「ムシ熱い」青春記。		
No.9 随筆	ひとりずもう	さくら ももこ	小学館
	テーマは「青春」。オシャレをしたりペットを飼ったり何かとのんきに過ごした女子校生活。突然の初恋。そして、自分の将来について考え始めた矢先に味わった絶望体験。まる子だった著者が、さくらももこになるまでの日々を記した自伝エッセイ。		
No.10 伝記	ちゆうがくせい ホームレス中学生	たむら ひろし 田村 裕	ワニブックス
	父親の突然の解散宣言で、13歳の僕は突然家を失う。そんな僕の新しい家は公園のウンコ形遊具の中。ダンボールで飢えをしのいだ日々や、いつも見守ってくれた亡き母への想い、いつしか描いた芸人という夢…。笑って泣ける、お笑いコンビ麒麟・田村の貧乏自叙伝。		



うちどく10は、「1日10分間よむ」「1か月に10冊よむ」など、10にまつわる目標を自由にかんがえてする読書活動です。  
図書館には、ここでおすすめした本のほかにも、たくさん本をYA(ヤングアダルト)コーナーに用意しています。ぜひ来てください。

- 可児市立図書館 開館時間  
本館 火曜～金曜 午前10時～午後7時  
土・日曜、祝日 午前10時～午後5時  
(7/21～8/28は午前9時30分から開館)  
分館 火曜～日曜 午前9時～午後5時
- 休館日  
毎週月曜日、毎月最終金曜日、年末年始

